

令和 6 年 10 月 10 日
(再提出)令和 6 年 11 月 20 日

小野市議会議長 様

山 本 悟 朗 ⑩

議員派遣報告書

先般、実施しました視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣実施日 令和 6 年 10 月 9 日（水）～令和 4 年 10 月 10 日（木）

2 派遣メンバー

前田昌宏議員 河島三奈議員 前田光教議員 小林千津子議員 山本悟朗

3 派遣先及び調査内容

全国市議会議長会研究フォーラム

岩手県民会館 トーサイクラシックホール岩手

10 月 9 日

13 時 20 分～

基調講演 人口減少社会における地域の未来図

第 99 代内閣総理大臣 菅義偉

国会日程の都合により欠席。ビデオレターによる挨拶。

内容は以下の通り

地方の活力がこの国の活力となる。

これを推進するために以下の 3 点の施策を実行してきた。

ふるさと納税

インバウンド増加施策

農産品の輸出拡大

地方議会の議員達にはその土地にあった施策の展開により、地方の活力を増すように取り組んでほしい。

13 時 25 分～

時間調整の為の追加テーマ

地方議会議員の厚生年金加入について

全国市議会議長会 事務総長
全国市議会議長会 副会長 畑中 優周
全国市議会議長会 会長 坊 恭寿

議員年金の取組のこれまでの経緯を説明
各市議会での意見書採択の依頼
決議文でも良いから採択してほしい。

14 時 20 分～

パネルディスカッション 地方議会の課題と主権者教育

コーディネーター

静岡大学教授

井柳 美紀

パネリスト

法政大学教授

土山希実枝

一般社団法人代表理事

越智 大貴

読売新聞東京本社

渡辺 嘉久

盛岡市議会議長

遠藤 政幸

静岡大学教授 井柳 美紀

地方議会の課題

投票率の低下 無投票当選の増加 議員の年齢・性別の偏り

→議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進すること。

→出前講座や模擬議会などを行い、議会自らが主権者教育を講ずること。

平成 27 年文部科学省通知で、学生運動時代の方針を改め、現実の具体的な政治的事象を取り扱い、自ら判断する事が大切。に変更している。

法政大学教授 土山希実枝

誰の為の主権者教育が

議会は主権者教育をすべきでない。

行政が行う主権者教育は欺瞞

議会や議員を知ってほしいは 誰の為！

多様な利害、価値観を集合的意思形成を行う場

議論をする事を学ぶ場の提供として、議会は役割を果たせる程度。

一般社団法人代表理事 越智 大貴

学校での社会科の授業は未だ暗記科目

社会参加や社会科学としての民主主義を教えていない。

どうせ何も変わらないので選挙にいかない。

学校の主権者教育は選挙の仕組みなどの話が多い。

文部科学省の方針変更に応ずる形で、具体的な政治課題をテーマにすると各方面からクレーム続出

読売新聞東京本社 渡辺 嘉久

人口減少社会と借金依存の財政 右肩下がりの未来

政治を知らない私が投票して世の中が変な方向にいつてはいけないので選挙に行かない。との若者の考え

誰を選べば良いかわからないシステム

自分の未来を選ぶ選挙

情報が変われば投票先は変わる

盛岡市議会議長 遠藤 政幸

盛岡市議会の主権者教育の取組

高校生議会の開催

次代を担う高校生が、選挙及び政治並びに身近な地方行政への関心を高めること

地方議会の主権者教育についての議論

井柳 地方議会選挙では争点が見えてこない

学校の中立性との兼ね合いはどうか

事務局を含めたマンパワーは足りるか？

土山 未来の市民の育成。議会は議論する場所なので話し合う機会が大切。

何が正しいかわからない。固有の意見が尊重されず正しい答えを探す事を求められて育っている。

遠藤 もりおか mirai おでかけミーティング

議員が大学に出向き、テーマを定めてディスカッションを実施

渡辺 議員は町に出て、色んな考えを学ぶことが大事。

変わったを実感させる事は大切

高校生議会のマニュアルを作って全国でやれば、

越智 議論して合意形成が生まれて何かが変わる？変わるかも？の体験が大事

選挙に行こう！ではなく 選挙に行こう？ の感性での教育が重要

地方議会の主権者教育について具体的提言を求める

パネリストからは意を得た発言なし。

10月10日

9時～

課題討議 主権者教育の取組報告

コーディネーター

事例報告者

東北大学准教授 河村 和徳

伊奈市議会前議長 白鳥 敏明

四日市市議会議員 諸岡 覚

山鹿市議会議員 服部 香代

東北大学准教授 河村 和徳

地方議会と主権者教育

大人になるプロセスの変化

→以前は大人や社会に触れながら成長していたが今はその機会が減少

理想 多様な意見があることを理解 実践の場から学ぶ機会

現実 正解を教えよう、学ぼうとする誤った姿勢

右肩下がりの地域では、声をあげるか出ていくしかない

→出ていかないためには何か行動を起こす必要がある。

伊奈市議会前議長 白鳥 敏明

高校生の議会傍聴と意見交換会の取組(市内の4高全てが対象)

平成30年の無投票の選挙結果を受け、令和元年から実施。

令和6年には高校生からの請願を受理

他にも意見交換会で生徒から出された意見を市議会として検討

→当局に要望

→取組の結果をフィードバック

四日市市議会議員 諸岡 覚

主権者教育の取組

ワイ！ワイ！GIKAI

従来から議会報告会とシティミーティングを実施してきたがマンネリ化

令和4年度から 4つある常任委員会がそれぞれ若年層との意見交換会を開催

中学校、高校、大学、商工会議所青年部など

高校生議会

テーマごとの委員会に分かれ、意見交換を行い、本会議場で、意見書の採択を行う。

よっかいち市議会だよりこども号

毎年7月に発行 夏休みの自由研究の材料に

山鹿市議会議員 服部 香代

なりたい職業やランキングベスト10入りを目指して

小学校でシチズンシップ教室を実施

- ・市議会について知る
- ・議員の仕事を理解する

- ・選挙の意義や、投票の大切さがわかる
「ポリポリ村のみんなしゅしゅぎ」を題材に

主権者教育の実践から見えた成果と課題

- 白鳥 高校生からさまざまな意見・提案が生まれてきた。
議会も高校生のことを考えるようになった。
高校生から請願 「子育て環境改善」
保育園にアンケート調査を実施して分析の後請願
- 諸岡 議員個々のキャラクターに触れて、色んな議員がいる事を高校生が知る。
本題からはズレるが有権者ではない留学生との交流も為にはなった。
若者を層として捉えるのではなく、個々と触れ合うことで意見が出てくるし、
教育にも繋がる。
- 服部 45分分の授業で民主主義を伝えるのは難しい。
子どもたちは、強い意見が出てくるとそれに引っ張られる。
議員の仕事は議員にしか語れない。
子どもたちは議員に会ったこと親に伝える。→親の投票行動に繋がる。

今後の活動についての提言

- 白鳥 中学校キャリアフェス(地域の企業や団体を知り、将来の進路を学ぶ場)に
市議会として参加
- 諸岡 個人の意見だが、立候補体験などしてみても、
公式の政治塾があっても良いのでは
- 服部 事業についてワークショップ方式で教育を実施するなど、複数のコンテンツを
継続して実施する事が大事

《所 感》

主権者教育には大きく3つの内容がある

1. 社会生活においては議論し、集団の合意形成を図る事が大切である事を学ぶ
2. 自由と平和と民主主義は、人類が多くを流して得たもので、天からの授かりもの
ではないことを学ぶ

3. 選挙で投票することは大切な政治参加である事を実感する。

パネリストは上記の3点を各自バラバラに発言しており、焦点が定まらぬまま会議が終了したのは残念だった。

そもそも大切なのは上記の1.2であり、これは学校教育の根幹。

もちろん学校現場で教員が行うべき事で議会や議員が恣意的に関与すべきことではない。

これをしっかり学ばずに3の行動には繋がらないし、もし繋がってしまえば衆愚へまっしぐらとなる。

3については、行政並びに議会が現実において、市民とどう向き合うかに委ねられて

おり、開かれた議会の活動の一つの効果として主権者教育に繋がるのではないかと思います。